

GREEN RANGER NEWS

2014年6月号

Vol.255



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
Tel & Fax 0224-25-3820
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■ 6月の活動報告

[定例会]6月8日

植林祭に代わる森づくりイベントが初めて開催されました。生憎の雨にも関わらず、大勢の参加者が集まりました。しっとりとした緑の中を鮮やかなレインジャケットが森を彩り、手鎌を手にした人は下草を刈り、高枝切鋸を手にした人は伸びすぎた枝を落とし、植林した木の成長を確かめながら森の保育作業に汗を流しました。次回は7月13日に自然観察路の整備を行います。次回の作業も多数の参加をお待ちしております。



■ 7月の活動案内

[自然観察路整備(下草刈り・つる切り)]

開催日 7月13日(日)

日程 9:00 会員集合
10:00 受付
10:15 開会
10:30 下草刈り、つる切り
12:00 昼食
13:00 自然観察路散策
14:30 閉会

参加費:大人500円、小学生以下100円(保険料含む)

持ち物:昼食、雨具、軍手、長靴、虫よけスプレー



[森の教室]

開催日 7月27日(日)

集合 作業小屋(丸太小屋) 10:00

内容 植物調査

自然観察路の見どころ

仲村 得喜秀

森づくり自然観察路の一番のポイントは、もちろん広葉樹の森づくり過程を見てもらう事です。しかし、四季を通じてそれ以外の魅力を伝えて行く事も大事だと思います。以下にその魅力と思われる部分について記します。

○5月初旬は雪がほぼなくなっていて、林床の草本類はまだ芽を出してきません。そんな中でいち早く目覚めるのがスミレの仲間です。植林地全体の林床では、スミレが足の踏み場もないくらい咲き乱れます。今回の調査では、

- | | | | |
|------------------------|------------------|---------------|---------------|
| 1、アオイスミレ | 2、マキノスミレ | 3、アカネスミレ | 4、ヒナスミレ |
| 5、タチツボスミレ | 6、オオタチツボスミレ | 7、エイザンスミレ | 8、アリアケスミレ |
| 9、ナガハシスミレ | 10、スミレ | 11、サクラスミレ | 12、ニオイタチツボスミレ |
| 13、スミレサイシン | 14、ニョイスミレ(ツボスミレ) | 15、ニオイスミレ(帰化) | |
| 16、シロバナアメリカスミレサイシン(帰化) | | | |

以上16種が確認されています。

○ヤマナシの花は5月中旬に美しい花を咲かせます。花と果実がたくさんつくのは2年に1度です。樹形はクマが常に幹や枝を折るので、異常な形をしています。クマとの関わりもアピールポイントかも。

○5月下旬になるとヤマツツジ、レンゲツツジ、サラサドウダンが咲きます。自然観察路の中には、ヤマツツジの道も入っています。将来的には、サラサドウダンもたくさん咲いてくれると思います。

○5月初旬からはオオヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラが咲き、6月初旬にはシウリザクラが咲きます。植林したオオヤマザクラの木にピンクの花が咲いている景色は何とも言えない風情があります。

○6月中旬からはエゴノキが白い花を木一杯に咲かせます。小屋の前にも1本ありますが、植林地内にも咲いています。エゴノキの実はやマガラの好物として知られています。

○5月から6月にかけては新緑のシーズンです。最も美しいといわれているブナの若葉を手にとって見られる場所は、そんなにはないと思います。

○植林地の中では毎年キジが産卵、子育てをしています。6月下旬ぐらいからは、たくさんの子供をつれた親鳥を見る事が出来ますが、親鳥は必ず子供を逃がすために偽傷行為をします。

○夏から秋にかけてはオミナエシとリンドウの花がたくさん咲きます。ツリガネニンジンも一部で咲きます。

○秋にはヤマブドウ、サルナシ、アケビなどが実ります。いずれも1年おきに豊作になります。

○植林地の中には彩遊の森があります。春にはサクラが咲き、秋にはカエデ類やサクラ類の紅葉が見られます。

○有用針葉混交林の実験林はスギと有用広葉樹の混植地です。ケヤキ、オオバボダイジュ、カツラ、トチノキ、ブナ、ハルニレ、ウダイカンバなどがスギの間に生育しています。

○様々な外的な被害について。

ウサギ・・・ケヤキ、カエデ類、サクラ類、ヤマボウシなどを食害する。

ハタネズミ・・・ブナ科の樹木の根を食害する。

コウモリガの幼虫・・・あらゆる木の幹や根部を食害する。

カミキリムシ・・・シロスジカミキリ、ゴマダラカミキリはブナの枝の皮部を食害し、枝を枯らす。

他のカミキリムシはミズナラ、コナラ、アオナラガシワの幹を食害し、木を弱らせ
いずれは枯らせてしまう。

ハマキガの幼虫・・・ブナやミズナラの葉を食害し、木を丸裸にすることもあるが、木は枯らさな
い。

雪折れ・・・大雪の年に特に多く、枝や幹が折れたり、2岐の木が裂けたりする。

春と秋の強風・・・弾丸低気圧や秋の台風で植林木やアカマツの成木が折れたり、根返り倒
木となる。処理しきれずに残っているものも多くみられる。

○山菜の林床栽培・・・まだ始まったばかりですが、シドケ、アイコ、ウルイは種子から増やせる事
がわかりました。今後は、全体的にもっと種子をまいていきたいと思います。

※以上、アピールできそうなポイントをあげてみました。他にもあると思うので、もっとみんなで探して
みましょう。